

## 法人化アンケート回答結果のとりまとめ

法人化検討小委員会

## 1. アンケート回収数

アンケート回収数（単位：件数）						
地区	北海道	東北	関東	関西	九州	全国
件数	23	26	35	6	30	120

## 2. 設問 1

① 執行部が学会を現在の「任意団体」から「法人」に移行する検討を行っていることを知っていますか？						
	北海道	東北	関東	関西	九州	全国(単位：%)
はい	26.1	23.1	54.3	83.3	56.7	44.2
いいえ	73.9	76.9	45.7	16.7	43.3	55.8
合計	100	100	100	100	100	100

## 3. 設問 2

② 法人化すると社会的プレゼンス（高い社会的信用）が向上すると思いますか？						
	北海道	東北	関東	関西	九州	全国(単位：%)
はい	56.5	34.6	65.7	66.7	46.7	52.5
いいえ	8.7	7.7	8.6	16.7	16.7	10.8
わからない	34.8	57.7	25.7	16.7	36.7	36.7
合計	100	100	100	100	100	100

## 4. 設問 3

③ 法人化すると学会の運営費が増加すると思いますか？						
	北海道	東北	関東	関西	九州	全国(単位：%)
はい	39.1	34.6	45.7	66.7	33.3	40.0
いいえ	17.4	11.5	11.4	16.7	6.7	11.7
わからない	43.5	53.8	42.9	16.7	60.0	48.3
合計	100	100	100	100	100	100

## 5. 設問 4

④ 法人化すると会費はどうなると思いますか？						
	北海道	東北	関東	関西	九州	全国（単位：%）
高くなる	26.1	26.9	31.4	50.0	31.7	30.4
安くなる	0.0	3.8	5.7	16.7	0.0	3.3
変わらない	30.4	34.6	31.4	33.3	41.7	34.6
わからない	43.5	34.6	31.4	0.0	26.7	31.7
合計	100	100	100	100	100	100

6. 設問5

⑤ 法人化すると、学会名で法律行為（契約、雇用、売買、貸借）ができるようになると思いますか？						
	北海道	東北	関東	関西	九州	全国(単位：%)
はい	56.5	61.5	71.4	83.3	73.3	67.5
いいえ	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.8
わからない	43.5	38.5	28.6	16.7	23.3	31.7
合計	100	100	100	100	100	100

7. 設問6

⑥ 法人化すると法律の規制が多くなると思いますか？（単位：%）						
	北海道	東北	関東	関西	九州	全国
はい	69.6	80.8	60.0	83.3	60.0	67.5
いいえ	13.0	0.0	5.7	16.7	13.3	8.3
わからない	17.4	19.2	34.3	0.0	26.7	24.2
合計	100	100	100	100	100	100

8. 設問7

⑦ 法人化すると会計処理や財産管理が今以上に透明になると思いますか？						
	北海道	東北	関東	関西	九州	全国
はい	69.6	46.2	60.0	66.7	60.0	59.2
いいえ	17.4	11.5	14.3	16.7	10.0	13.3
わからない	13.0	42.3	25.7	16.7	30.0	27.5
合計	100	100	100	100	100	100

9. 設問8

⑧ 現時点で、本学会が法人化することについてどう思われますか？						
	北海道	東北	関東	関西	九州	全国
賛成	50.0	15.4	62.9	33.3	43.3	43.7
反対	13.6	3.8	5.7	0.0	13.3	8.4
わからない	36.4	80.8	31.4	66.7	43.3	47.9
合計	100	100	100	100	100	100

⑧の回答理由（件数）								
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	その他
賛成	0	16	0	1	14	1	6	3
反対	0	0	3	2	0	1	0	2
わからない	1	3	6	3	6	1	2	8

## (その他の理由)

### 1) 賛成

- ・ 社会的動向による。社会の潮流がそのよう（法人化）になってきているのであれば、合わせた方が良い。
- ・ 法人化のスケールメリットを出すために、フェデレーション参加学会の統合を検討されてはと考えます。
- ・ いくら会費が高くなるか試算して欲しい。
- ・ 学会役員業務や裏方業務を外部委託出来れば運営に携われる裏方が楽になる。
- ・ 最近では組織のコンプライアンスの関係で、仕事との両立が難しい。
- ・ 組織的な安定が図られ、正会員はもとより特別会員等の増が期待される。
- ・ 学会としての営利事業が可能（常識的な利益で）。
- ・ 九州支部会を盛り上げられそうだから。

### 2) 反対

- ・ メリットが思いつかない。法人化のメリットより会計処理など煩雑な事項が増え、専門業者の委託が発生する
- ・ 十分に理解していないから。

### 3) わからない

- ・ メリットが見えない。他にも手段がある。
- ・ メリット、デメリットを具体的に示して欲しい。他の学会の状況と法人化団体のメリット、デメリットを教えて欲しい。（東北、九州）本学会のような中小学会で法人化のメリットがあるのか。（北海道）
- ・ 理事、幹事の負担が増えないよう、無理のないように進めて下さい。
- ・ 今以上に執行部の負担が大きくなると考えます。皆、本職と平行して学会業務を行っているので、今以上に仕事量が増えるのは本職を圧迫し、本末転倒。十分議論して下さい。
- ・ 法人化の目的を知らないので判断のしようがない。設問に予想されるメリットとデメリットを用意してあるように見えますが、必要がないことをあえてすることもないかと思えます。
- ・ 法人化に係わる法律はどれに帰属するのか見えない（商法？民法？etc.）
- ・ 法人化することで信用は大きくなるが、事務局運営が煩雑なりそうです。運営の簡素な方が良い。
- ・ 情報が十分ではない。他の学会の具体例を知りたい。（東北）

## 10. その他の意見

- ・ 法人化を検討している背景、ねらいの説明が欲しい。（北海道）
- ・ 学会事務局の負担が減る方向になれば法人化をしても良いのでは。（東北）
- ・ 法人化による会員数増のメリットが出るのか？（関東）
- ・ 早急に法人化を進め、学会の信用をより向上させるべき。（関東）
- ・ 今後はいずれ法人化は必要となるので、今から準備を始めておけば良い。準備には多少お金が掛かって専門家によく相談して下さい。（関東）
- ・ 農業環境工学関連学会で可能な限り、情報を共有し、「共存」又は「合意の下での合併」に繋がっていけば素晴らしい成果になる。（関東）
- ・ 会誌会告等を通じて、法人化することのメリット、デメリットを明示して欲しい。（関東）
- ・ 大学の法人化に伴う業務量の増加、負担増があり、専門部署が必要となるのではないか。（関西）
- ・ 法人化をなぜ行い、そのメリット、デメリットを簡潔に示す必要がある。（九州）
- ・ 利益の処分に関する規則を作る必要があり、今までのプール金のように貯金出来なくなるのでは。（九州）

2016 年度に実施した農業食料工学会の法人化アンケートにて、会員の皆様より様々な意見を頂きました。その意見に対する法人化検討委員会としての回答を以下に記します。

## －賛成－

- ・ 社会的動向による。社会の潮流がそのよう（法人化）になってきているのであれば、合わせた方が良い。当会と同規模の学会や、当会よりも小さな規模の学会でも続々と法人化しており、社会の潮流とも言えます。我々も他学会が法人化に至った経緯、手続きなどを参考とし、検討を進めます。
- ・ 法人化のスケールメリットを出すために、フェデレーション参加学会の統合を検討されてはと考えます。まずは当学会に絞って法人化を進めたいと考えております。その理由は、①法人化に際しては法人の設立趣意が重要となり、設立趣意の異なる学会との合併は難しいこと、また、②法人は設立よりも解散の方が難しいため、他学会との統合を前提とした場合、設立に際してより慎重かつ長期的な協議が必要になること、が主な理由です。これらを踏まえると、まずは当会の法人化、その後ニーズがあれば他学会との統合の道を検討すべきと考えます。
- ・ いくら会費が高くなるか試算して欲しい。  
現時点で試算できておりませんが、値上げ前提では動いておりません。試算できない理由は、①法人化後の支部の在り方を決定できていないこと、②法人化後の事務局所在地を決定できていないこと、③法人化後の会員種別についても要検討事項であること、が理由です。これらを決定後、法人として健全かつ安定的な運営が可能な収支バランスを試算し、年会費を決定していく予定です。
- ・ 学会役員業務や裏方業務を外部委託出来れば運営に携われる裏方が楽になる。
- ・ 最近では組織のコンプライアンスの関係で、仕事との両立が難しい。  
学会役員業務や裏方業務を担う会員の皆様には多大な負担をかけており、本業となる組織のコンプライアンスからその継続が難しくなっております。そのため、法人化に際しては改善が必要です。しかし事務を外部委託すれば支出は増加し、そのために収入を上げる必要があります、場合によっては年会費の値上げに繋がる懸念が生じます。よって、まずは現事務局の体制強化を図り、外部委託は必要最小限に留めることが得策と考えます。
- ・ 組織的な安定が図られ、正会員はもとより特別会員等の増が期待される。  
法人化による社会的な信頼性の増加が、特別会員の増加に繋がるよう期待しています。
- ・ 学会としての営利事業が可能（常識的な利益で）。  
法人形態にもよりますが、法人として営利事業を行う場合、営利目的の事業と非営利目的の事業を区別し、前者に対しては収益額に対して法人所得税を納入する義務が生じます。  
ご指摘のとおり、収益が得られる営利事業は法人経営の安定化には重要です。しかし前述のとおり、収

益事業を行えば税制に関する諸般の雑務が生じます。よって、積極的な営利事業の実施是非も含め今後の検討事項となります。

- ・九州支部会を盛り上げられそうだから。  
今の支部活動を盛り上げられるよう、また妨げにならないよう、学会法人化について検討します。

## ー反対ー

- ・メリットが思いつかない。法人化のメリットより会計処理など煩雑な事項が増え、専門業者の委託が発生する

現事務局の体制強化などを図り、会計処理の煩雑化などのデメリットを克服していきたいと考えます。なお、法人格を有することで会計処理は改善する面もあります。例えば、学会として法人銀行口座が所有できるため、会長交代時などの口座変更に関する諸手続が不要となります。また、信頼性が高まり寄付金や法人会員の増加も期待できます。さらに、年会費のクレジットカード支払いの検討も可能となり、海外会員の年会費納入なども容易となります。これら「法人化による事務工数の低減」が可能な面もありますので、メリットとデメリットを今後も開示しつつ、法人化の検討を行います。

- ・十分に理解していないから。  
今後、会員の皆様に向けてより積極的な情報公開に努めます。

## ーわからないー

- ・メリットが見えない。他にも手段がある。
- ・メリット、デメリットを具体的に示して欲しい。他の学会の状況と法人化団体のメリット、デメリットを教えて欲しい。(東北、九州) 本学会のような中小学会で法人化のメリットがあるのか。(北海道)

学会法人化のメリット・デメリットとして以下が代表例として挙げられています。メリット：①社会的プレゼンスの向上、②学会名での法律行為（契約、雇用、売買、貸借）が可能、③透明性の高い会計処理が可能になる。デメリット：①事務処理煩雑化により専門家の助言（または委託）が必要となるため運営費用が増加する、②法律の規制が多くなる。

以上のメリットやデメリットは、当学会にも共通します。また、これ以外の当会特有のメリットやデメリットは特に無いかと思えます。

- ・理事、幹事の負担が増えないよう、無理のないように進めて下さい。
- ・今以上に執行部の負担が大きくなると考えます。皆、本職と平行して学会業務を行っているので、今以上に仕事量が増えるのは本職を圧迫し、本末転倒。十分議論して下さい。

学会役員業務や裏方業務を担う会員の皆様には多大な負担をかけており、組織のコンプライアンス上からその継続が難しくなっております。そのため、法人化にあたり改善が必要です。その負担を軽減する上でも、法人化にあたり現事務局の体制強化、必要に応じて外部への業務委託が必要と考えます。

- ・法人化の目的を知らないのでは判断のしようがない。設問に予想されるメリットとデメリットを用意して

あるように見えますが、必要がないことをあえてすることもないかと思えます。

法人化の目的は、多くの学会と同様です。すなわち「年間 1000 万円規模の収支を持つ学会が、法人法に基づいてその活動を行い、公正さを示すことは社会的な義務」という危機意識に基づいております。今後、メリットやデメリットについて情報公開した上で、学会法人化の必要性が伝わるよう、会員の皆様との議論を継続します。

- ・ **法人化に係わる法律はどれに帰属するのか見えない（商法？民法？etc.）**

法人化の種別にもよりますが、他学会のような一般社団法人を選ぶ場合、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」が主たる帰属となります。また運営に際しては従来同様、法人税法、著作権法、労働契約法、個人情報保護法などが該当します。これらについて専門家を交えながら進めていきたいと考えます。

- ・ **法人化することで信用は大きくなるが、事務局運営が煩雑になりそうです。運営の簡素な方が良い。**

大局的に見れば、ご指摘のとおり事務局の担う業務は増えると思えます。よって事務局運営体制の強化や、必要に応じて外部委託などを検討すべきと考えます。

- ・ **情報が十分ではない。他の学会の具体例を知りたい。（東北）**

当会と同等規模で、支部制度や選挙制度などでも共通点の多い学会として「日本環境教育学会」がごぞいます。法人化に至るプロセス、定款、各種検討事項などもホームページに公開しております。こちらをご参照頂ければと存じます。

学会法人化に関する会長方針      2015年11月28日

日本環境教育学会会長 諏訪哲郎

<http://www.jsoe.jp/component/content/article/63-incorporation/incorporation-basic/361-incorporation-policy>

## —その他—

- ・ **法人化を検討している背景、ねらいの説明が欲しい。（北海道）**

本学会と規模の近い学会の多くが法人化を完了あるいは検討しております。任意団体の学会は法人化するとデメリットを上回るにメリットを得られると考えております。H20年の法改正により法人化が以前よりも容易になったにも関わらずそれを行わないでいると、当学会の運営姿勢を問われるかもしれません。

- ・ **学会事務局の負担が減る方向になれば法人化をしても良いのでは。（東北）**

残念ながら今よりも減るということはないと思われれます。しかし、より厳密で整合性の高い運営を行うことができます。

- ・ **法人化による会員数増のメリットが出るのか？（関東）**

企業によっては任意団体への加入を禁じているところがあるかもしれません。法人化して社会的信用度

が上げれば加入を促すことになると思います。

- ・ **早急に法人化を進め、学会の信用をより向上させるべき。(関東)**  
同感です。検討委員会はそのように考えています。
- ・ **今後はいずれ法人化は必要となるので、今から準備を始めておけば良い。準備には多少お金が掛かって  
も専門家によく相談して下さい。(関東)**  
現在、学会法人化を支援した経験のある都内印刷会社を通じて準備を行っています。当企業は他学会の  
事務を受託しており、また学会法人化に詳しい行政書士や税理士と契約しており、安心して相談できる  
専門家と考えています。
- ・ **農業環境工学関連学会で可能な限り、情報を共有し、「共存」又は「合意の下での合併」に繋がってい  
れば素晴らしい成果になる。(関東)**  
合併にまでつながるかどうかは不明ですが、学会長を通じて関連学会との情報共有をすすめ、今後も共  
存していきたいと考えます。
- ・ **会誌会告等を通じて、法人化することのメリット、デメリットを明示して欲しい。(関東)**  
承知しました。HP等にも掲載する予定にしております。
- ・ **大学の法人化に伴う業務量の増加、負担増があり、専門部署が必要となるのではないか。(関西)**  
移行にあたっては、執行部をはじめとする関係者の業務や負担の増加がありますが、前述したように、  
細かい作業は委託業者にお願いできるので、本務に影響が出ることはないと考えております。法人化後  
は財務会計の業務が以前より負担増となりますが、法人維持のための部署の新設は不要です。
- ・ **法人化をなぜ行い、そのメリット、デメリットを簡潔に示す必要がある。(九州)**  
2017年度大会でのフォーラムを皮切りに、会員の集まる支部会やシンポジウム、学会誌やHPに法人化  
を行う理由、メリット、デメリットを提示していきます。
- ・ **利益の処分に関する規則を作る必要があり、今までのプール金のように貯金出来なくなるのでは。(九  
州)**  
財産の移行作業を行います。利益活動には課税されますが、税金を納めれば法的に剰余金を積み立てる  
ことは可能です。